

平成22年度の取り組み方針(案)について

継続して取り組むもの

行動計画の推進・フォローアップ

- 行動計画の着実な推進、施策の進捗管理を行う
- 行動計画の中間評価に必要な、基礎データの集約を行う

多様な主体との連携促進

- 研究者、NPO、市民団体との情報交換・連携を継続する
 - ・科学技術振興調整費「伊勢湾流域圏の自然共生型環境管理技術開発」
 - ・伊勢湾流域圏再生ネットワーク
- 「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」の継続（詳細は次頁の通り）

伊勢湾再生のためのモニタリングに向けて

- 伊勢湾流域圏モニタリング計画の策定
 - ・陸域における効率的なモニタリングについて、引き続き検討を行う
 - ・学識者等との情報交換を密に行いながら、伊勢湾流域圏全体をカバーする、モニタリング計画を策定する

行動計画の中間評価

- 中間評価の方針に基づき、行動計画の達成状況等の評価する
- 「行動計画のフォローアップ」「環境劣化・再生メカニズムの整理」「市民団体等との連携」等の実態を踏まえ、必要に応じ、行動計画の見直しに向けて検討を進める

平成22年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリングについて

目的:

伊勢湾の環境モニタリングにおける関係機関との連携構築を図る
市民に伊勢湾再生への関心を持ってもらう

実施時期:

環境モニタリング期間 7月28日～8月11日
行政機関の統一実施日:8月4日(水)

実施主体

関係行政機関:

定期観測のうち1回を、統一実施日に実施する。

市民団体等:

伊勢湾流域圏内の市民が、環境モニタリング期間内に水質調査を実施する。
参加に当たっては、事務局より広く募集をかけ、必要に応じて水質の簡易測定キットの配布等を行う。

主な調査項目:

BOD、COD、T-N、T-P、DO、ゴミの状況など

募集方法:

5月上旬から市民への募集を開始する

(プレスリリース、推進会議ホームページへの掲載等)

※普段から水生生物調査に取り組んでいる団体や、

企業のCSRに関連づけた参加も可能とし、広く参加を求める。

また、関係行政機関へは、推進会議構成員を通して参加を求める。

データの公開

比較的早く回収できる簡易測定キットの結果を整理し、速報版を作成する。
(9月下旬めど)

行政機関等が実施したデータを含めて整理し、取りまとめた最終報告を
12月に行う。

集計した結果は、どちらもプレス発表やホームページなどで公開する。